

キャリア朝礼



芸北教育

広島県立加計高等学校
芸北分校

306号

令和2年
~7月~

「教えてセンパイ！」 キャリア朝礼始まる

今年度もキャリア朝礼がスタートしました。キャリア朝礼では、地域で活動する20代〜50代の人生のセンパイに「今どんな仕事をしているの?」「なぜその仕事に就こうと思ったの?」について「芸分生へのメッセージ」を交えてお話しいただきます。この企画は、芸北分校生徒会と西中国山地自然史研究会が連携し、一昨年度からスタートしました。今年度の第

全国から入学できます! 女子下宿、男子寮完備。町より月一万円補助制度あり。見学随時可能。(電話)〇八二六・三五・〇七二六

1回目は東京都出身で現在はアンデルセン芸北100年農場にお勤めの前田菜々子さんです。「為せば成る」「自分の中の軸を持つ」という信念のもと日々精進しているというお話でした。第2回目は芸北分校卒業生の向田拓夫さんです。現在は建築のお仕事をされています。自分自身の高校時代を振り返りながら芸分生に対して「苦手なことにチャレンジを続けることがチャンスをつかむことにつながる」というお話をしていただきました。ありがとうございました。

生徒会執行部決まる

役職	氏名
会長	水野 南
副会長	小田 梨世
議長	横畑 あゆな
副議長	隅岡 伸乃輔
書記	白 一輝
会計	上迫 靖弥
代表議員	藤井 美緒

生徒会として**①全校**
生徒を引っ張っていくこ
と②芸北分校をアピール
していくことを念頭に置
 き、行事では全校生徒の活
 動意欲が高まるように声
 掛け等を行い、**芸分の魅力**
 を増やしていくことができ
 るように様々なことに
チャレンジしていきます。
 一年間よろしく願いま
 す。【会長 水野 南】



投票

立会演説・応援演説

救急救命法講習会



7月1日

(水)に救急

救命講習会を

実施しました。

生徒は正しい

知識と技術を

身に付けようと真剣に取り組

んでいました。お忙しい中、

御指導いただきました**北広島**

町消防署芸北出張所の皆様あ

りがとうございました。



「G Suite」研修会

6月12日（金）「G Suite」

研修会を行いました。

芸北分校は、4月中旬からの臨時休業において、2度の郵送による課題と以前から取



り組んでいた**スタディサプリ**を活用したものでした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による第2波が到来した場合は、生徒の学習支援をより充実させるためにはオンライン

授業が不可欠となってきます。今後、生徒全員がICTを活用した授業にスムーズに取り組むことができるよう努めてまいります。

●「みのり」学習スタート リンゴの袋かけ体験 （1年生）

1年生35名の中で芸北中学校出身生徒は12名です。23名は他地区からの入学です。人生初のリンゴの袋かけ体験をしました。



虫よけ、日焼け対策効果が9月以降に収穫として表れることでしょう。

●「みのり」学習スタート

郷土（2・3年生）

「八幡湿原」「高原の自然館」、「古民家」、「天狗シデ」等、芸北地域だけでなく北広島町を知ること、自然に触れることで人間は**大自然に生かされている**ということを学びます。

大自然に囲まれて育っています！



「全校朝礼」 各部活動から

殻破り！

人前で堂々と演技をするこ
とは誰もが恥ずかしいことか
もしれません。芸北分校の職
員室でよく聞く言葉がありま
す。「●●さんは殻を破ってい
ってるね。芸分生になってい
ってるね・・・」要するに、
芸をすることだけが目的では
ありません。人前で恥ずかし
がらずに堂々と意見が言える



ようになってい
るという意
味です。将来、
世間に出た
ときに自分



自身を表現で
きる大人に成
長するために
芸北分校で鍛
えていきます。
6月30日

部、7月7日（火）は女子バ
レー部が「殻破りのステージ」
に上がりました。芸分生の一
人ひとりが前日の自分よりも
数ミリでも成長していくため



に殻を破
っていき
よう。

昨日の自分を
超えていけ！

「ポツンと一軒家」

TV視聴ランキングで毎週トップである。

元は『人生で大事なことは〇〇から学んだ』
という番組の一企画にすぎなかったようであ
る。グループアースの地図上で見つけた一軒
家を「本当に住んでいるのかな」とスタッフ
が探したのが最初だそうである。実は、スタ
ッフが実際に行ってみると9割が空き家や廃
墟。ポリシーは「事前調査を一切行わない」
番組の対象になるのはわずかであり、表に出
ないスタッフの苦労が伺える。人里離れた一
軒家に住む人に焦点を当てて、それを紹介す
る内容だけなのに何故、人気となるのか？

それは、視聴者がそこに住む人の暮らしぶ
りや、なぜその地に行き着いたのかなど、人
生ドラマに一番ひきつけられるのだというこ
とにスタッフは回を重ねることに気づいたよ
うである。「一軒家」とはいつても、焦点が当
たっているのは「家」ではなく「人」である。
たいていの人は、自給自足に近い生活をして
いる。もっとも大切なのは、そこに住む人た
ちが生き生きと生活していることである。こ
の番組を見終わるといつも「ほっこり」とし
た穏やかな気持ちになる。「ポツンと一軒家」
にお住いの方と番組製作スタッフに感謝。

太公望球児